

作品

米山龍介の世界 Vol.2 オーボエ&ソプラノ

RYUSUKE YONEYAMA WORLD Vol.2 Oboe & Soprano

米山 龍介
Ryusuke Yoneyama
和歌山大学観光学部

キーワード：演奏、音楽

Key Words：Oboe, Musical Performance, Music

I. はじめに

前回 2010 年 9 月 4 日に主催した演奏会¹は、“集客”という命題にひとつの結論を導き出せないかという観点から、かつてリゾート地として繁栄し、市内中心部から少々離れた和歌の浦の地にある“アートキューブ”というホールにおいて行った。その結果、キャパシティ満杯の集客数や演奏中の聴衆の様子、また終演後の再公演の声等に応える形でシリーズ化を決定し、今回に至ることになった。

今回の演奏会は、JR 和歌山駅からほど近い場所に位置し、“ビッグホール”とともによく知られた“ビッグ愛”という建物の大ホールにおいて、聴衆が来やすい場所で音響も整った場所であるというコンセプトのもと 2013 年 11 月 29 日に再び筆者自身が主催したリサイタルであり、オーボエという楽器で声楽曲を如何に表現するか、歌詞のない木管楽器であるオーボエを演奏することによって日本歌曲のオリジナル以上の表現が可能であるか等のポイントに重点を置いた演奏会である。

尚、今回のコンサートタイトルに 2010 年のそれと多少ニュアンスの異なりがあるのは、内容を明確にしたためとシリーズ化したことに依るものである。

II. 演奏会の概要

1. プログラム

当日の演奏プログラムは以下のとおりである。

- ①合奏協奏曲集「四季」より 冬 II. Largo
(ヴィヴァルディ)
アントニオ・ヴィヴァルディのコンチェルトグロッソ「四季」の“冬”の2楽章ラルゴ。ヴァイオリンソロの部分をオーボエにアレンジして演奏。

- ②シク地方の三つの民謡

- I. Rubato II. L'istesso tempo III. Poco vivo
(バルトーク)

20 世紀のハンガリーの作曲家ベラ・バルトークが、農村や地方においてこそ真正なハンガリー人の民謡が残っているとそれをモチーフに作曲したもの。

- 1楽章 ルバート 2楽章 リステッソテンポ
3楽章 ポーコヴィーヴォ

- ③オーボエ・ソナタ ト短調 Tafelmusik1733
(テレマン)

- I. Largo II. Presto III. Tempo giusto
IV. Andante V. Allegro

バロック時代の作曲家ゲオルグ・フィリップ・テレマンが、ターフェルムジーク（食卓音楽）として作曲したもの。

- 1楽章 ラルゴ 2楽章 プレスト 3楽章 テンポジスト
4楽章 アンダンテ 5楽章 アレグロ

- ④歌劇「リナルド」より 涙の流れるままに
(ヘンデル)

敵の大將に求愛されたアルミーナが、本当に愛するリナウドを想うあまり自分のおかれた運命を嘆き歌うアリア。

- ⑤歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲
アヴェ・マリア (マスカーニ)

オペラの中ほどで演奏される美しい間奏曲に歌詞を付けて歌われる曲。

- ⑥歌劇「タンホイザー」より 歌の殿堂 (ワーグナー)
行方不明だったタンホイザーが再び戻って来ることを知ったエリザベートが、ヴァルトブルク城の大広間で歌う喜びのアリア。

⑦歌劇「運命の力」より 神よ、平和を与えたまえ
(ヴェルディ)
主人公レオノーラの登場のたびに演奏されているテーマフレーズの後に歌われる、祈りのアリア。

⑧城ヶ島の雨 (北原白秋・詞 梁田貞・曲)
城ヶ島に降る雨の様々な様子を北原白秋が歌に詠んだもの。

⑨霧と話した (鎌田忠良・詞 中田喜直・曲)
女性が歌う実らぬ恋の歌で、ドラマチックかつ抒情的な曲。

⑩箱根馬子唄 (日本民謡)
箱根地方の馬方節を矢代秋雄がフルートと鈴に編曲したもので、フルートソロの部分をオーボエで、鈴のパートを南部風鈴に持ち替えて演奏。

⑪九十九里浜 (北見志保子・詞 平井康三郎・曲)
九十九里浜からみた太平洋の荒々しくもあり優しくもある様子を力強く歌った曲。

⑫落葉松 (野上彰・詞 小林秀雄・曲)
ポピュラー曲のように聞きやすい曲だが、歌い手においてはたびたび出現する「落葉松」の後のフレーズを如何に歌い分けるかが重要になる曲。

⑬くちなし (高野喜久雄・詞 高田三郎・曲)
父が植えたくちなしを見ながら、亡き父への思いや祈りを表現した曲。

⑭この道 (北原白秋・詞 山田耕筰・曲)
北原白秋が札幌を旅行した時の想い出の曲で、三拍子と二拍子が交互に出現し、歌詞のもつリズム感を大切にし情感を高めた曲。

⑮花の街 (江間章子・詞 團伊玖磨・曲)
終戦後の日本が少しでも早く様々な花の咲く街になってほしいという、夢と希望が込められた曲。

2. 作品

作品 (Blu-ray Disc) は以下のとおりの「日本歌曲」である。

- 1) 城ヶ島の雨 (北原白秋・詞 梁田貞・曲)
- 2) 霧と話した (鎌田忠良・詞 中田喜直・曲)
- 3) 箱根馬子唄 (日本民謡)
- 4) 九十九里浜 (北見志保子・詞 平井康三郎・曲)

Ⅲ. まとめ

このリサイタルの特徴としては前半を洋楽、後半を日本歌曲に絞って企画したところにある。日本歌曲においてはあまり例がないが、「声楽」(歌)の部分でオーボエという洋楽管楽器で演奏した。その曲は2-1プログラムで挙げている ⑧城ヶ島の雨 (北原白秋・詞 梁田貞・曲)、⑨霧と話した (鎌田忠良・詞 中田喜直・曲)、⑩箱根馬子唄 (日本民謡)、⑪九十九里浜 (北見志保子・詞 平井康三郎・曲) の四曲である。また、ソプラノとのコラボレーションは ⑭この道 (北原白秋・詞 山田耕筰・曲)、⑮花の街 (江間章子・詞 團伊玖磨・曲) の二曲である。また、日本歌曲以外のソプラノとのコラボレーションは ④歌劇「リナウド」より 涙の流れるまに (ヘンデル)、⑤歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲より アヴェ・マリア の二曲である。

元来、これらの曲は声楽曲であるため音域等において多少のアレンジを行ったが、原曲のイメージを損なうことは皆無であった。それは、終演後の聴衆が寄せてくれた感想ならびに演奏中の聴衆が示す音楽を聴こうとする静寂感が物語っている。コンサートにおいて緊張感を伴ったコミュニケーションの延長としての“沈黙”と演奏者の“パフォーマンス”がうねるような一体感を伴った時に醸成される「空間の創造」という概念に達することができた時、或いは聴衆とそれを共有できた時に真の感動が生まれるものと考えられる。言い換えると一体感が意識された時、また感じられた時の静寂感こそがその証左なのかも知れない。

以上の点から、そして“ビッグ愛 大ホール”の300人というキャパシティ満杯の集客数から、今回の「オーボエで日本歌曲を演奏する」という企画・実践は、日本人のアイデンティティーを足元から見つめ直すという視点からも目的が充分に達せられたと考える。

今後も継続して「米山龍介の世界」を追究していきたい。

本作品は、以下の URL に提供しております。

http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/wuats_archives.html/

【注】

- 1 米山龍介 「米山龍介 オーボエ&ソプラノの世界」 観光学 006 和歌山大学観光学会 2012.1

【参考文献】

標準音楽辞典 音楽之友社 昭和42年
音楽小辞典 音楽之友社 昭和46年
日本抒情歌全集1〜3 長田暁二編 ドレミ楽譜出版社 1997

米山龍介の世界 Vol.2
オーボエ&ソプラノ
オーボエ: 米山龍介 / ソプラノ: 米山茉莉子
伴奏: 滝浪ゆかり

指揮: 小宮山 孝
作曲: 小宮山 孝

コンチェルト・グロソ「四季」より「冬」・ラルゴ・ヴィヴァルディ
オーボエ・ソナタニ・g-moll / テレマン
オペラ「タンホイザー」より おごかなこの広間と ワーグナー
落葉松 / 野上彰・小林秀雄作曲
その他



米山龍介 (オーボエ)
東京音楽大学音楽学部、同大学音楽学部卒業。1985年より10年間東京音楽大学でオーボエを学ぶ。その後、ドイツのミュンヘン音楽大学でオーボエを学ぶ。1995年にドイツのミュンヘン音楽大学でオーボエの演奏家としての活動を開始。現在は、ドイツのミュンヘン音楽大学でオーボエの教授を務めている。



米山茉莉子 (ソプラノ)
中央音楽学校音楽学部、同大学音楽学部卒業。1985年より10年間中央音楽学校でソプラノを学ぶ。その後、ドイツのミュンヘン音楽大学でソプラノを学ぶ。1995年にドイツのミュンヘン音楽大学でソプラノの演奏家としての活動を開始。現在は、ドイツのミュンヘン音楽大学でソプラノの教授を務めている。



滝浪ゆかり (伴奏)
中央音楽学校音楽学部、同大学音楽学部卒業。1985年より10年間中央音楽学校でピアノを学ぶ。その後、ドイツのミュンヘン音楽大学でピアノを学ぶ。1995年にドイツのミュンヘン音楽大学でピアノの演奏家としての活動を開始。現在は、ドイツのミュンヘン音楽大学でピアノの教授を務めている。

2013.11.29 (金)
和歌山ビッグ愛 1F大ホール 〒640-8159 和歌山県和歌山市大浜1-1-1
TEL 073-435-5300

開場 午後6:00 開演 午後6:30
全自由席 前売り ¥3,000 当日 ¥3,500
全席自由席 ¥3,000 (税込 ¥3,300) (税込 ¥3,500)



プログラム

～ 休憩 15分間 ～

- | | | | |
|---|---------|-----------|-----------------|
| 1. 協奏曲集「四季」より
冬 II. Largo | ヴィヴァルディ | 8. 城ヶ島の雨 | 北原白秋・詞 桑田貞・曲 |
| 2. シタ地方の三つの民謡
I. Rubato II. L'istesso tempo III. Poco vivo | バルトーク | 9. 暮と話した | 鎌田彪良・詞 中田喜直・曲 |
| 3. オーボエ・ソナタ ト短調 Tafelmusik1733
I. Largo II. Presto III. Tempo giusto
IV. Andante V. Allegro | テレマン | 10. 箱根馬子唄 | 日本民謡 |
| 4. 歌劇「リナルド」より
涙の流れるままに | ヘンデル | 11. 九十九里浜 | 北見志保子・詞 平井康三郎・曲 |
| 5. 歌劇「カヴァレリア・ルスティカーナ」間奏曲
アヴェ・マリア | マスカーニ | 12. 落葉松 | 野上彰・詞 小林秀雄・曲 |
| 6. 歌劇「タンホイザー」より
歌の殿堂 | ワーグナー | 13. くちなし | 高野喜久雄・詞 高田三郎・曲 |
| 7. 歌劇「運命の力」より
神よ、平安を与えたまえ | ヴェルディ | 14. この道 | 北原白秋・詞 山田耕祐・曲 |
| | | 15. 花の街 | 江間章子・詞 團伊玖磨・曲 |